

名取川上流・岩の川の 洪水浸水想定区域の指定について

令和7年7月29日
仙台市減災推進課

- 1 洪水浸水想定区域指定についての経緯
- 2 洪水浸水想定区域図
- 3 適切な避難行動(大雨時)
- 4 まとめ

1-1 洪水浸水想定区域とハザードマップ

- **洪水浸水想定区域**とは、水防法に基づき、ある河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を、国や都道府県が指定するもので、これに併せて、その区域と浸水の深さを示す図面(洪水浸水想定区域図)を公表しています。
- 指定された区域をもとに、市が避難所などの様々な情報を追加した洪水ハザードマップを作成しています。

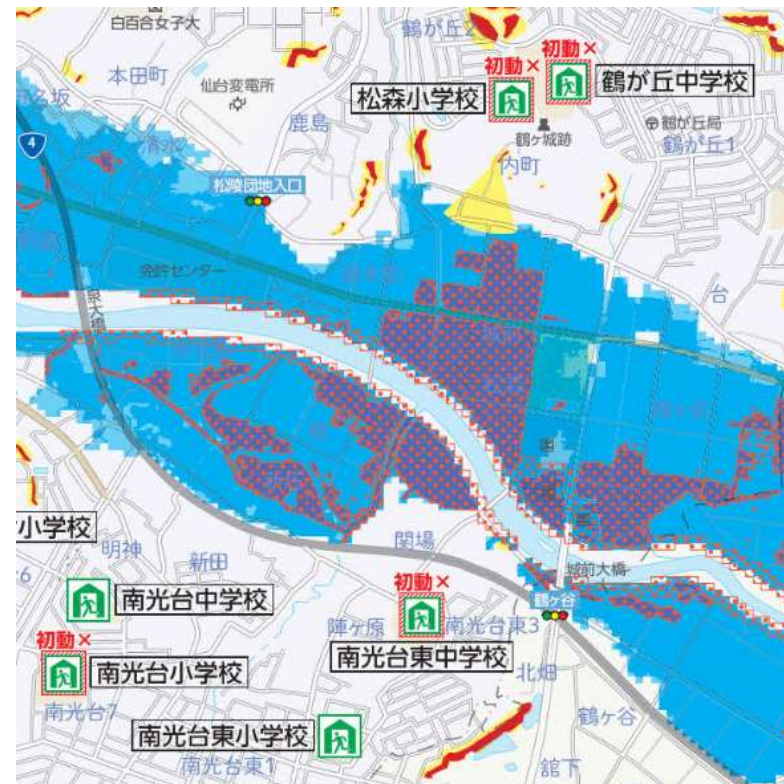
宮城県による洪水浸水想定区域図



避難所などの
情報を追加

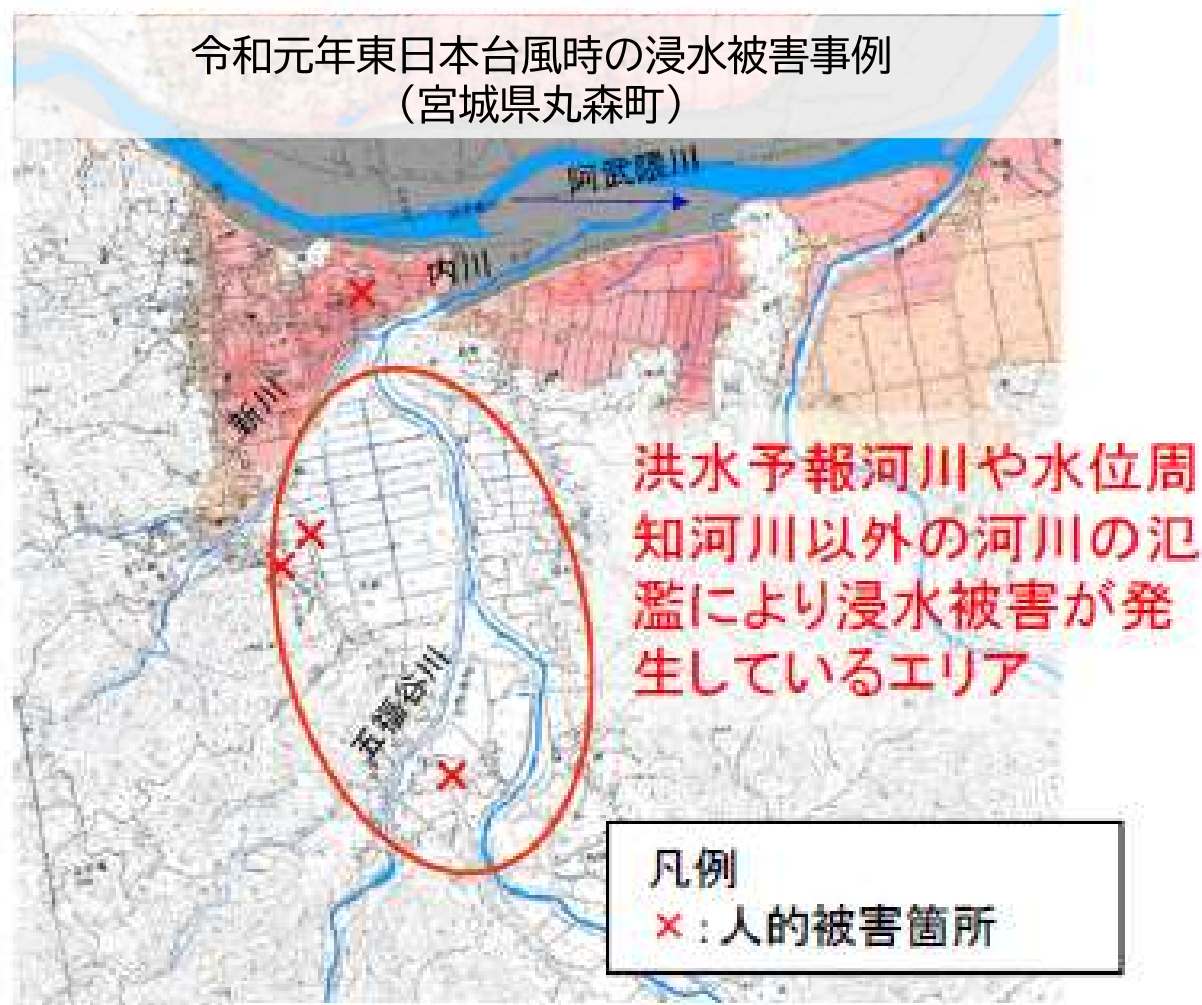


仙台市のハザードマップ



1-2 過去の災害における被害の発生

- 従来は大河川である洪水予報河川や水位周知河川について、洪水浸水想定区域の指定対象となっていました。令和元年東日本台風などの災害では、それ以外の河川においても氾濫による人的被害が発生してしまいました。



参考: 令和元年東日本台風時の
決壊河川の状況(国土交通省資料)

都道府県	決壊河川数	水位周知河川等の 河川数(大河川)	その他河川数 (中小河川)
宮城県	18	4	14
福島県	23	9	14

図:「水防法等の一部改正について(令和3年7月16日:国土交通省河川環境課)」より

1-3 水防法の改正に伴う洪水浸水想定区域の指定対象追加

- こうした状況を踏まえ、令和3年に水防法が改正され、現行の洪水予報河川や水位周知河川に加え、一級河川及び二級河川で住宅等の防護対象のある河川(中小河川)も洪水浸水想定区域の指定対象に追加されました。
- これを受け、宮城県は令和4年から順次県内の中小河川の洪水浸水想定区域の指定を行っており、このうち、仙台市にかかる河川についても以下のとおり洪水浸水想定区域が指定されました。

従来の 指定対象河川	名取川水系 七北田川水系 砂押川水系	: 名取川、広瀬川、笹川、旧笹川、増田川 : 七北田川、梅田川 : 砂押川
法改正により 指定対象と なった河川	令和6年度 七北田川水系 名取川水系 砂押川水系 令和7年度 (5月30日指定) 名取川水系	: 要害川、仙台川、高柳川、 七北田川(変更)、梅田川(変更) : 広瀬川(変更) : 砂押川(変更) : 名取川(変更)、岩の川、本砂金川、碁石川、 新川、大倉川、齊勝川、青下川、芋沢川 ※上記のほか、令和4・5年度にも複数の河川が新たに指定されました。

2-1 洪水浸水想定区域図について

(1) 想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図

- 想定最大規模降雨(1000年に1回程度と毎年の発生確率は低いものの、規模の大きな降雨)により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域と浸水の深さが示されています。

指定の前提となる降雨

・名取川 → **2日間**総雨量 607.3mm

・岩の川 → **1時間**総雨量 120.0mm

参考:過去の災害時の名取川 流域2日総雨量

平成27年9月
関東・東北豪雨 → 255.6mm

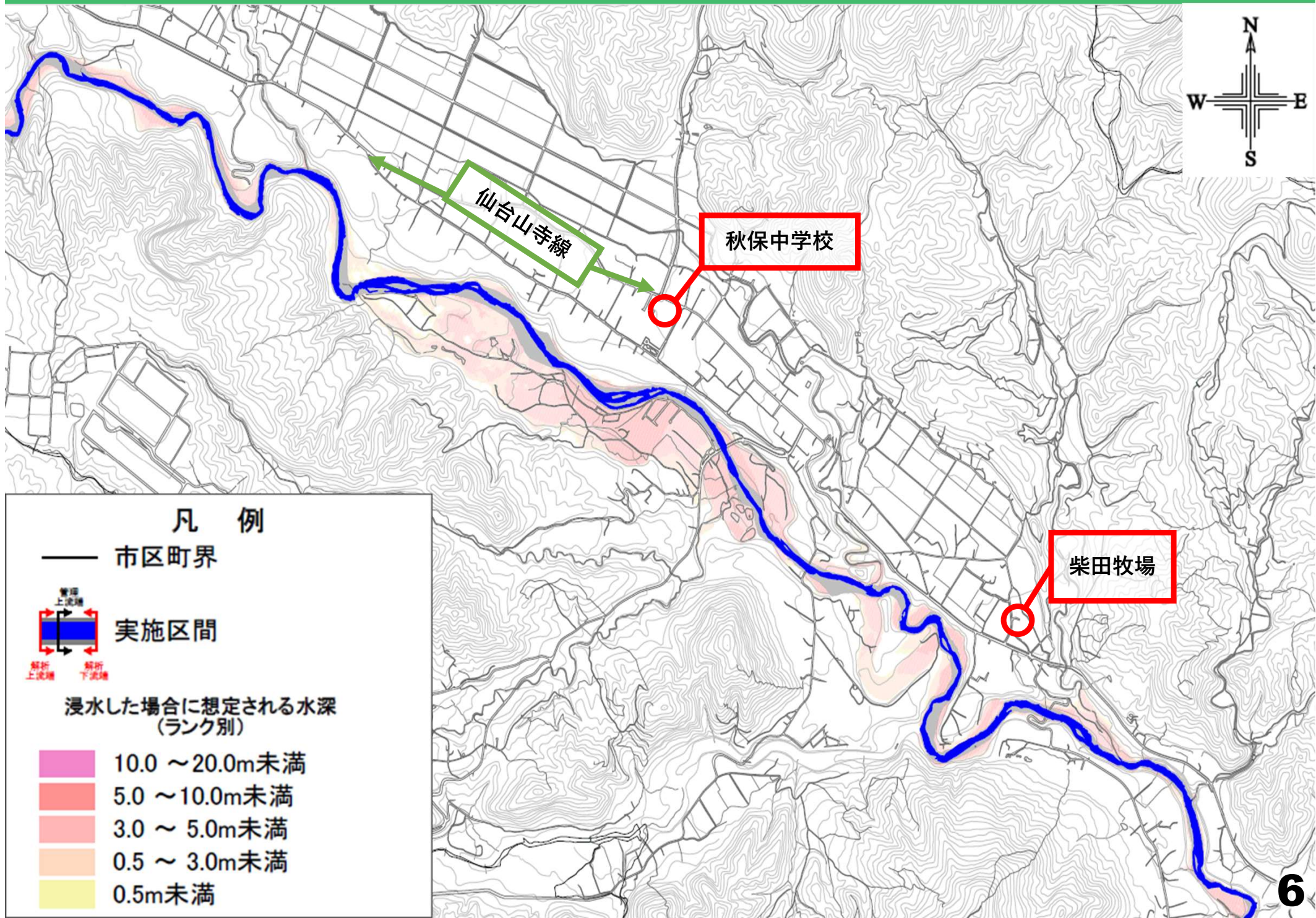
令和元年
東日本台風 → 297.1mm

注意事項(洪水浸水想定区域図の説明文より)

なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

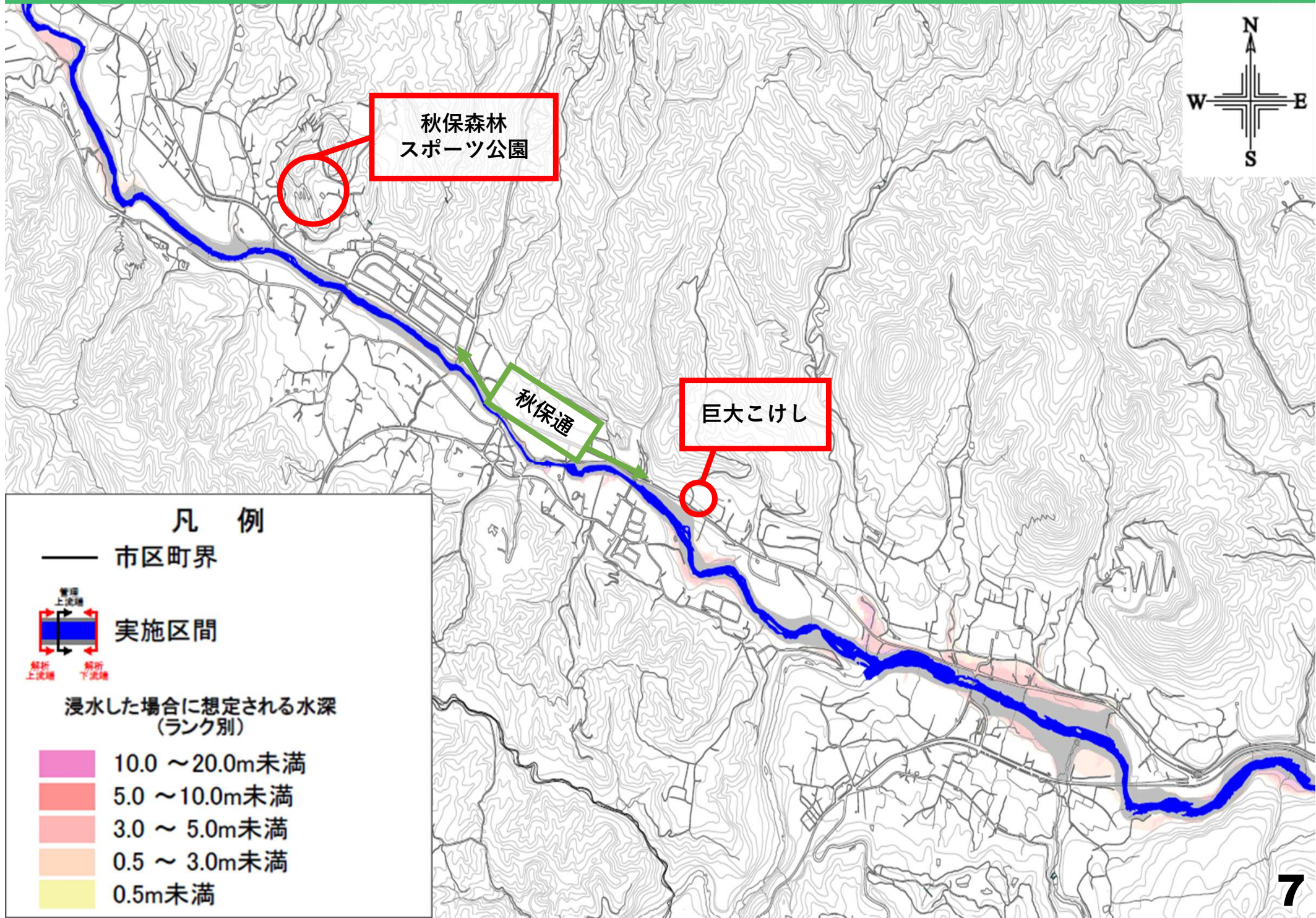
2-1 洪水浸水想定区域図(名取川①)

※宮城県から提供を受けた図面に基づき作成しています



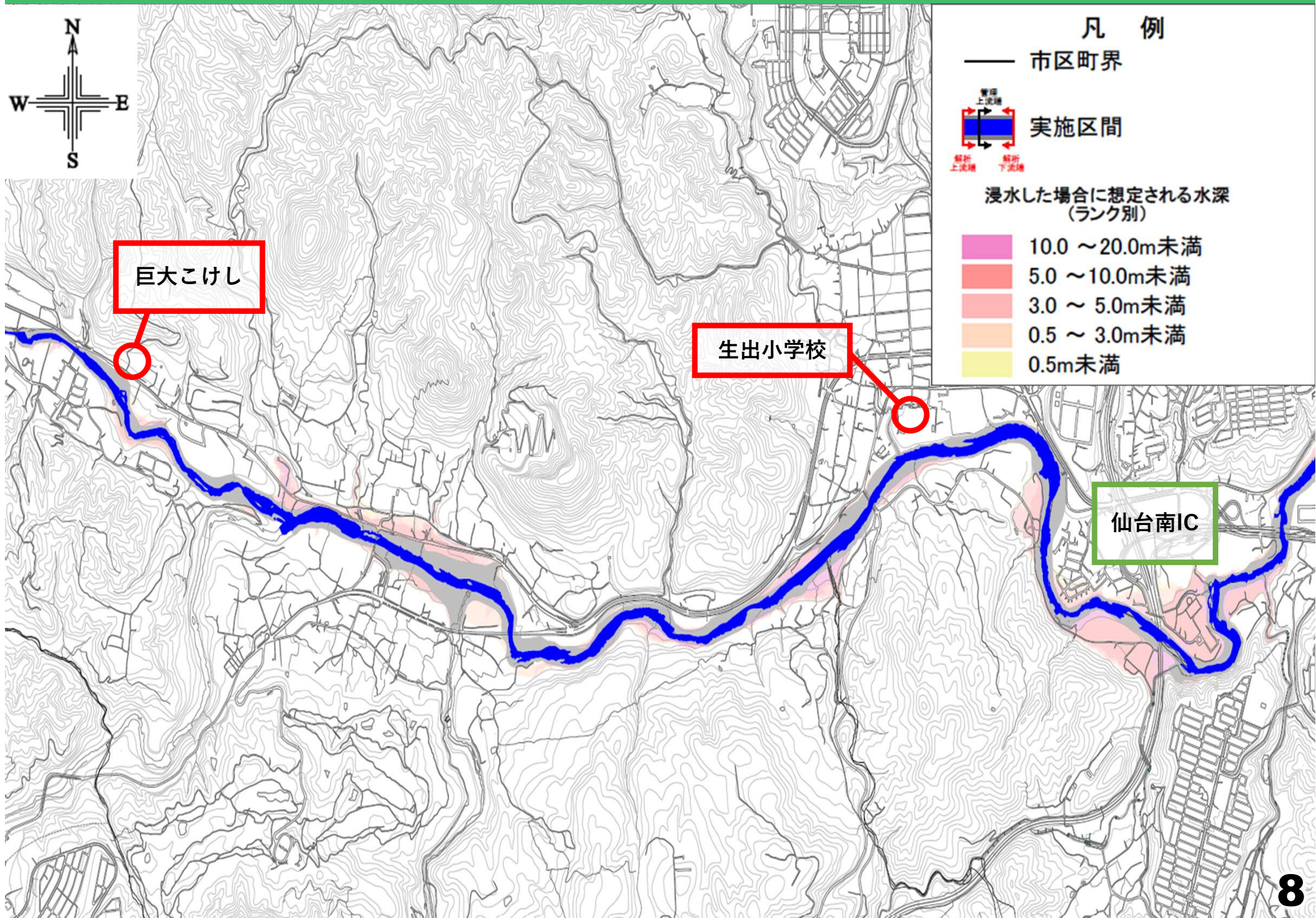
2-1 洪水浸水想定区域図(名取川②)

※宮城県から提供を受けた図面に基づき作成しています



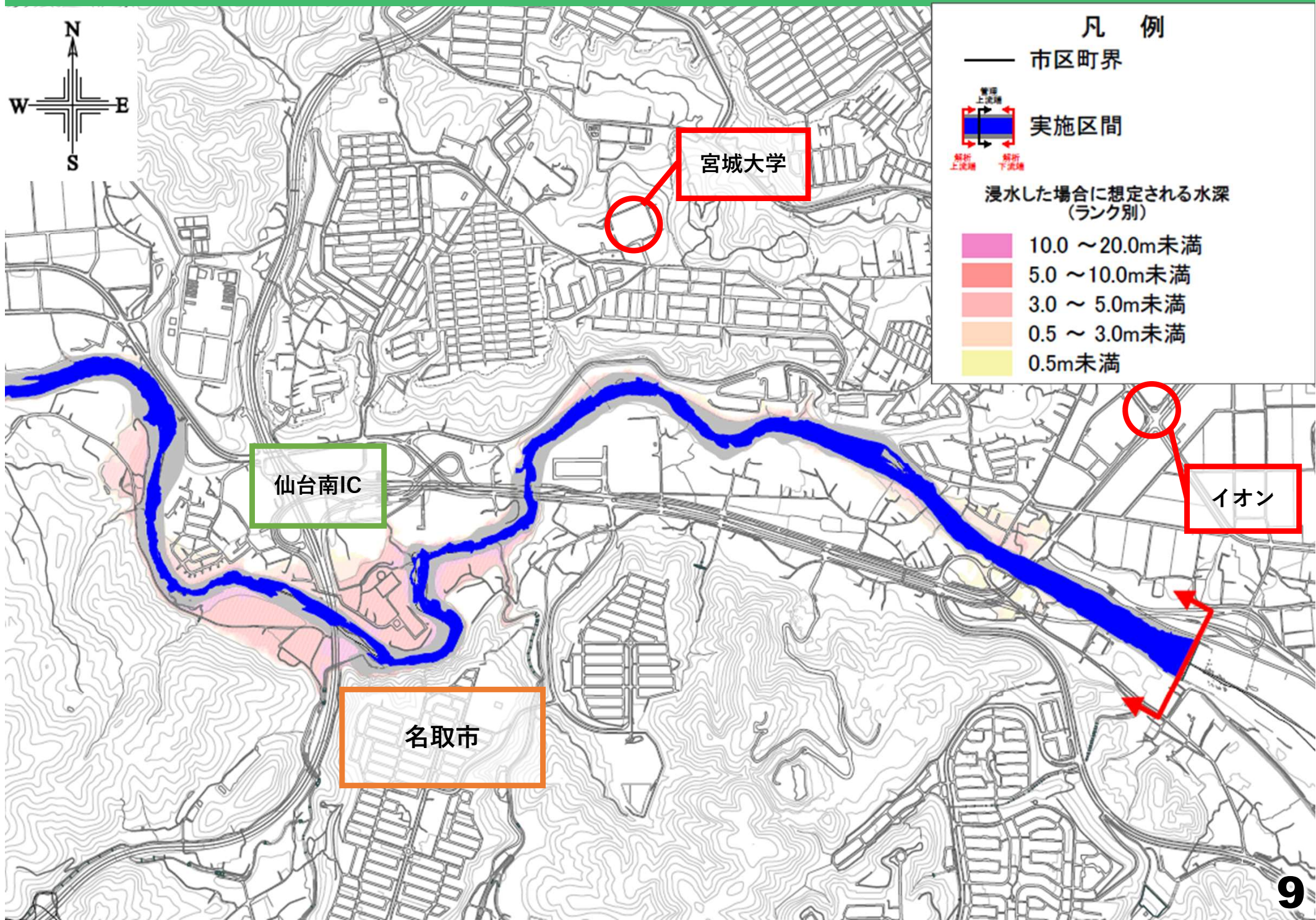
2-1 洪水浸水想定区域図(名取川③)

※宮城県から提供を受けた図面に基づき作成しています



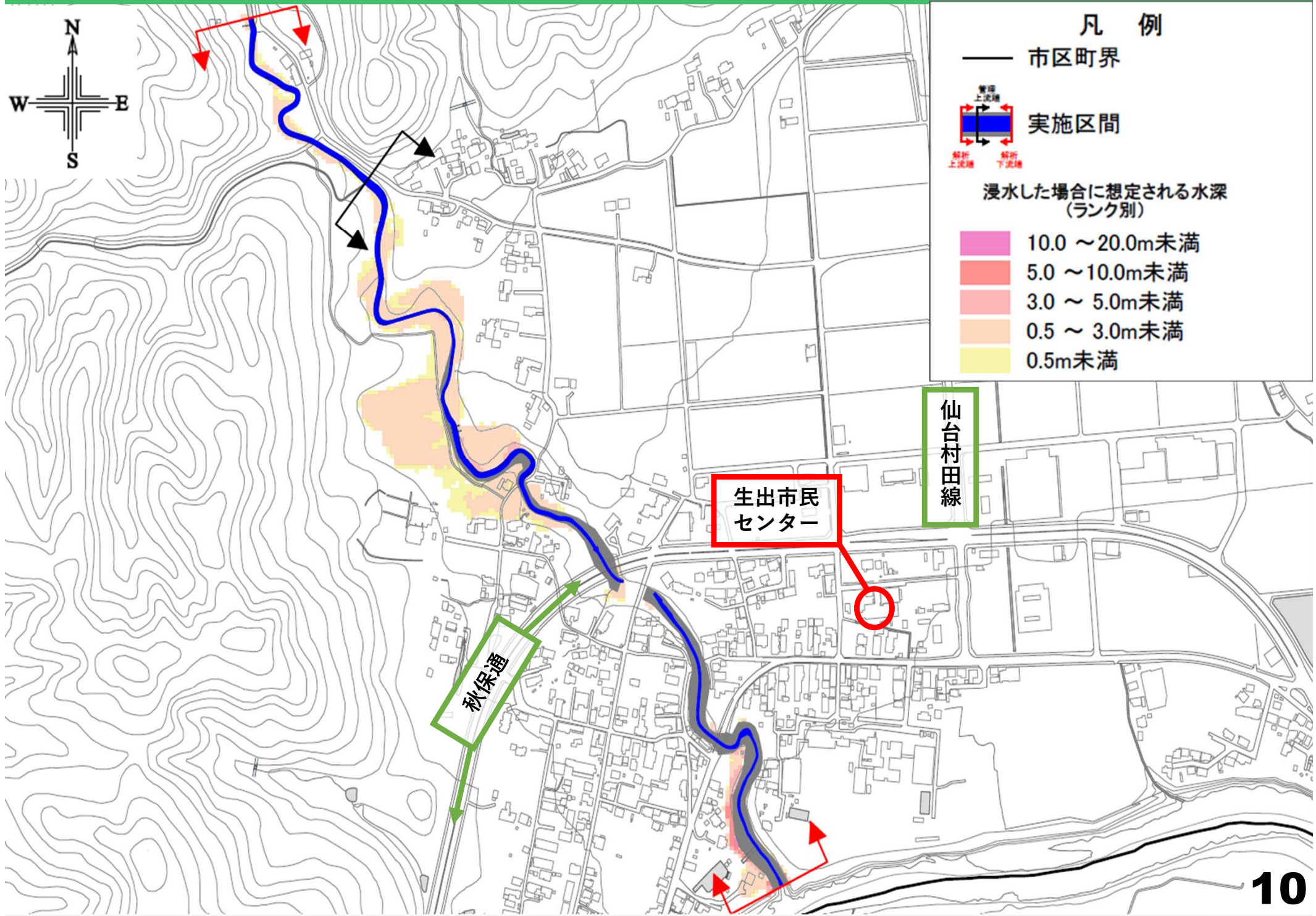
2-1 洪水浸水想定区域図(名取川④)

※宮城県から提供を受けた図面に基づき作成しています



2-1 洪水浸水想定区域図(岩の川)

※宮城県から提供を受けた図面に基づき作成しています



2-1 洪水浸水想定区域図について

(2) 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

- 想定最大規模降雨に伴う洪水による**河岸侵食**が発生した場合に、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)の目安を示すものです。

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)とは

川の流れる勢いにより、護岸や堤防などが削り取られることで、家屋の造りに関係なく壊れる危険性がある範囲のこと



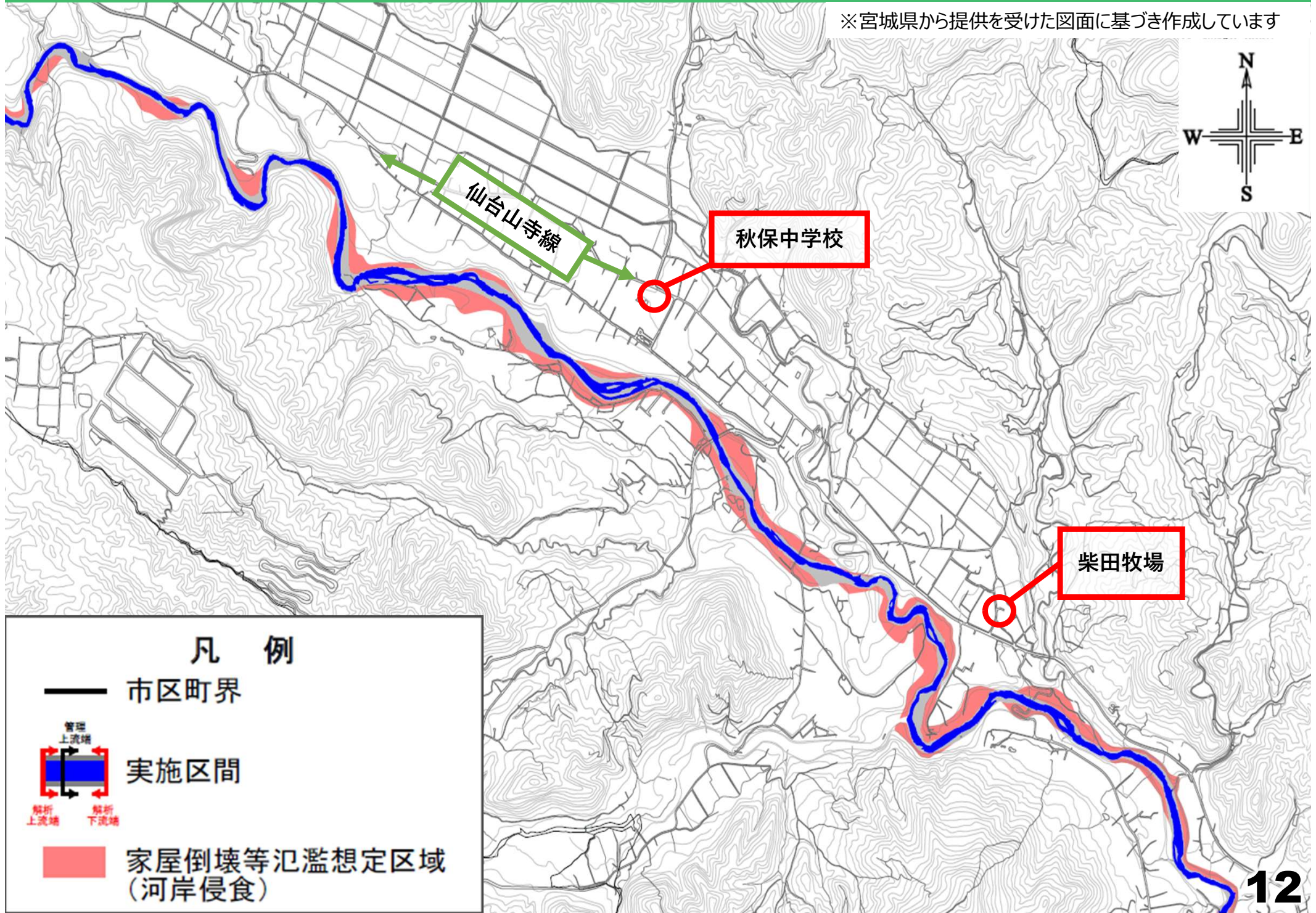
河岸侵食のイメージ



家屋倒壊等氾濫想定区域は、建物内の上階に避難する「垂直避難」では安全の確保が難しくなることから、「**早期の立退き避難が必要な区域**」に設定しており、避難時は特に注意が必要です。

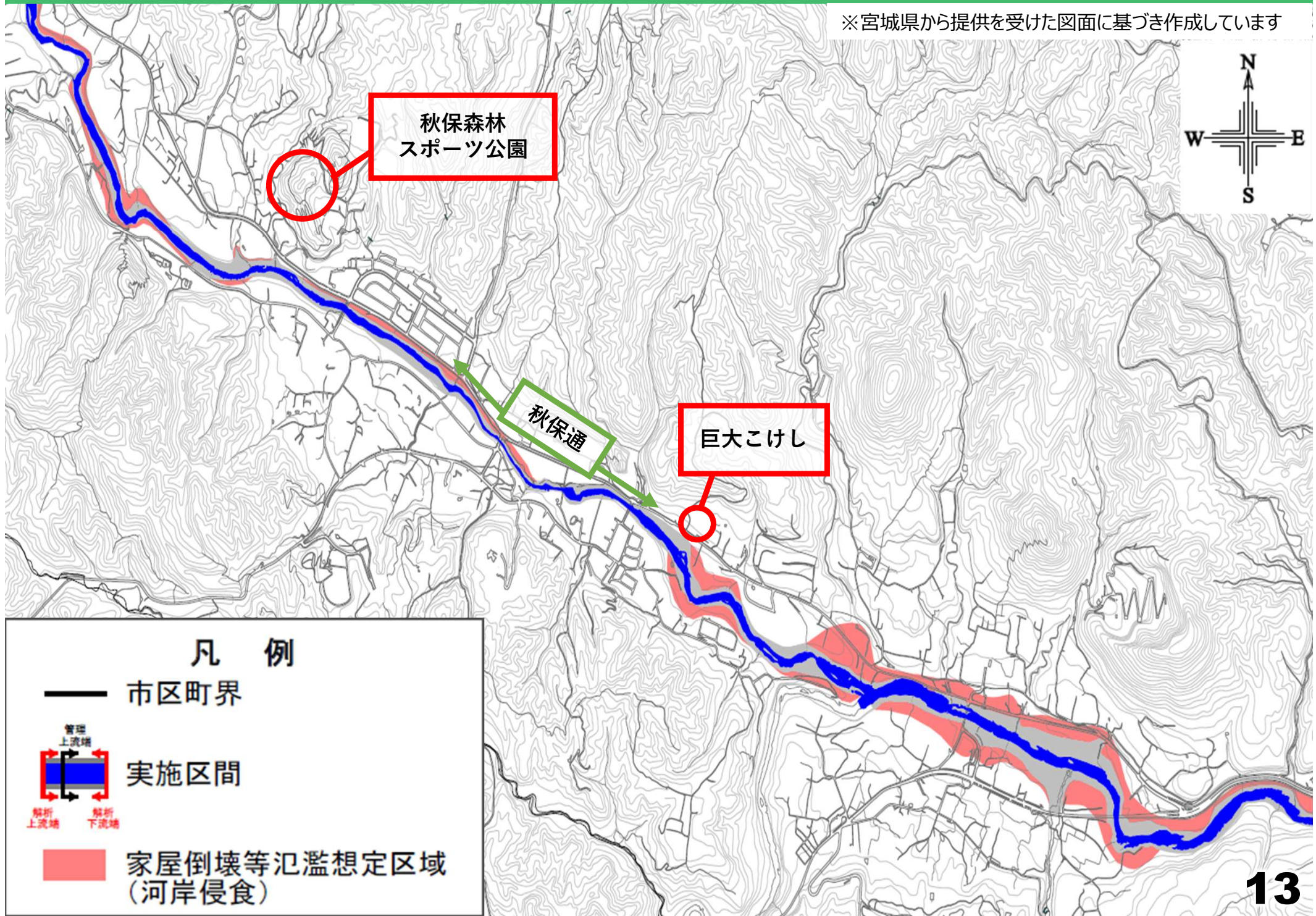
2-1 洪水浸水想定区域図(名取川①) 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

※宮城県から提供を受けた図面に基づき作成しています



2-1 洪水浸水想定区域図(名取川②) 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

※宮城県から提供を受けた図面に基づき作成しています

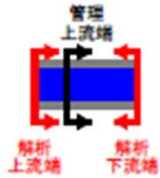


2-1 洪水浸水想定区域図(名取川③) 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

※宮城県から提供を受けた図面に基づき作成しています

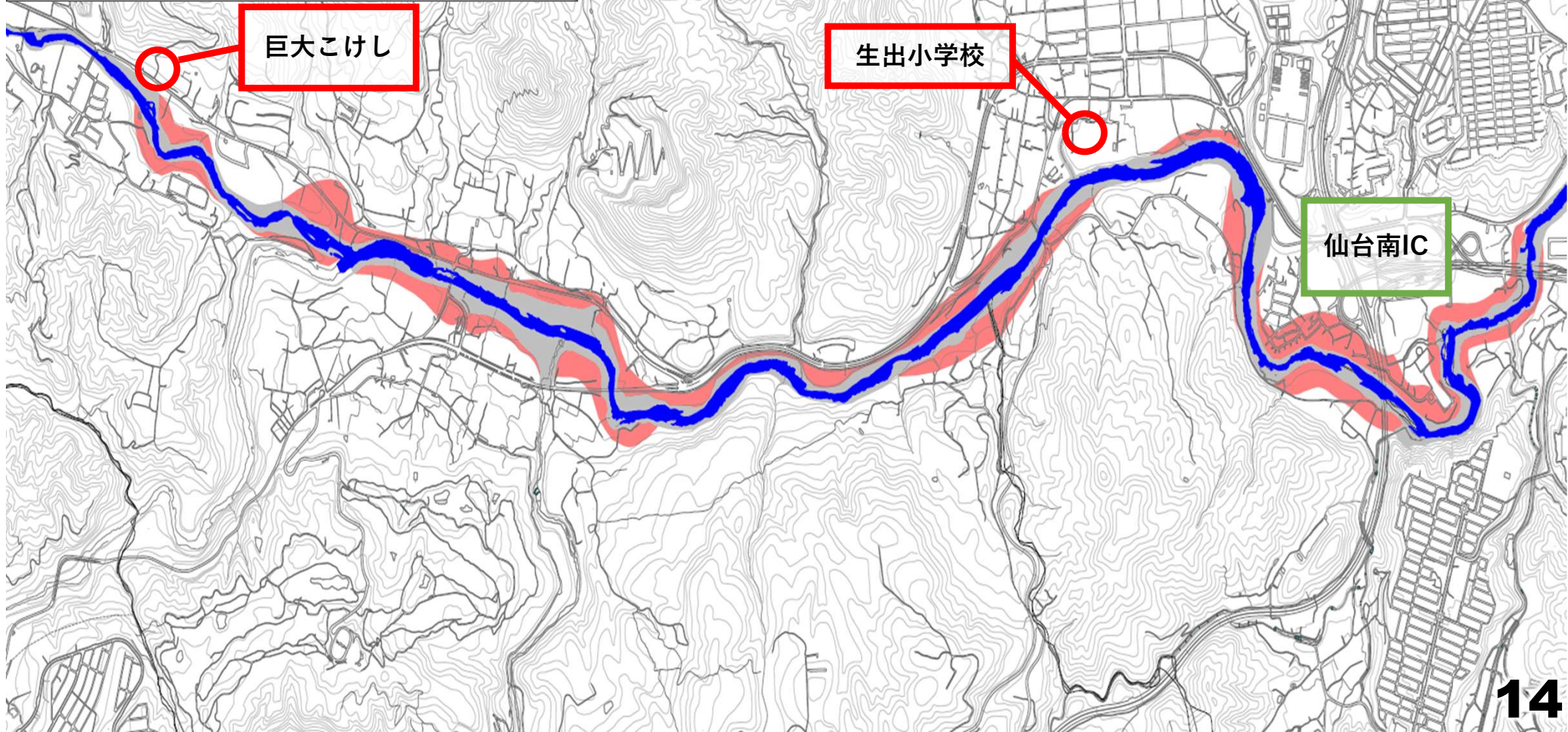
凡 例

—— 市区町界

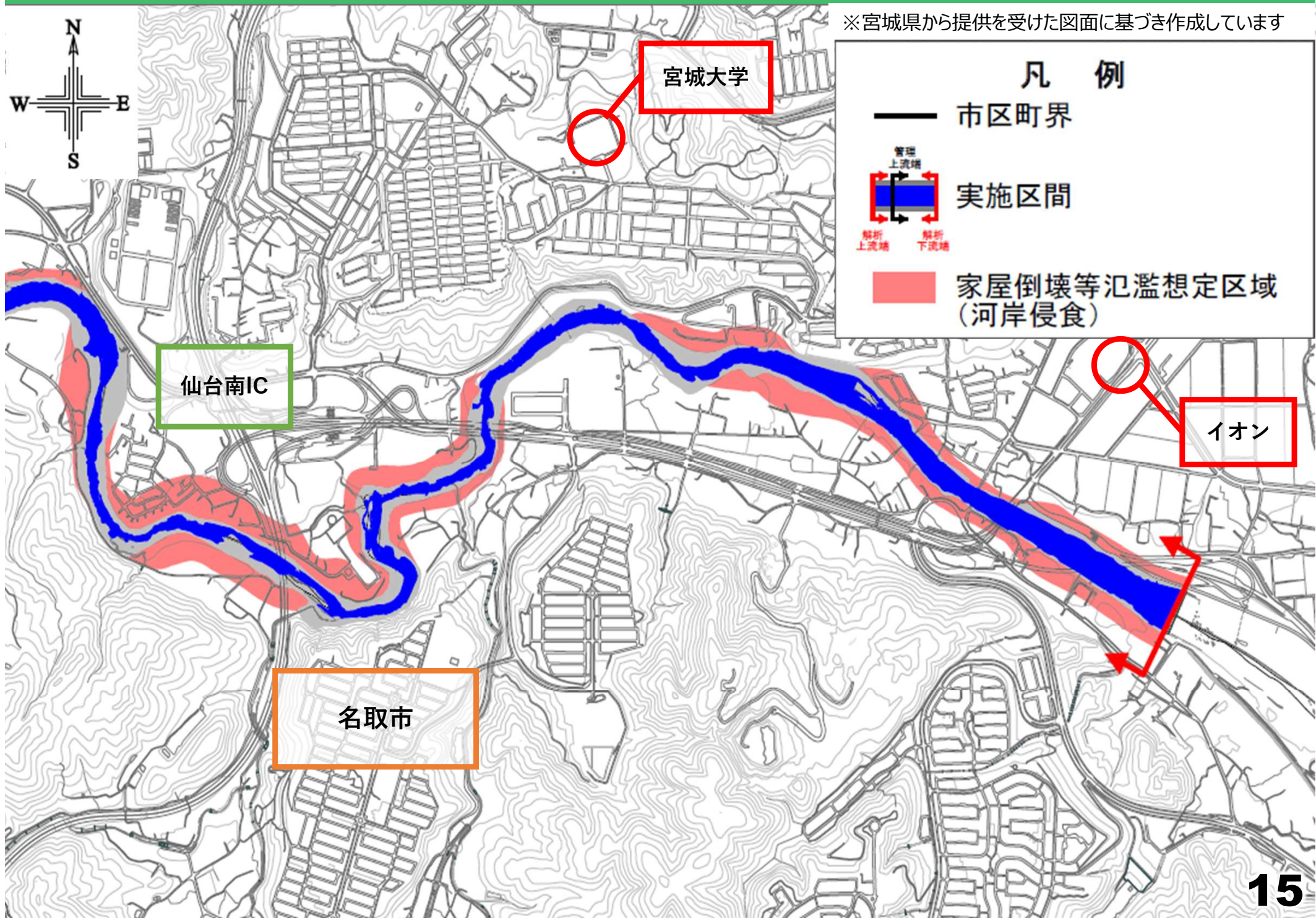


実施区間

■ 家屋倒壊等氾濫想定区域
(河岸侵食)



2-1 洪水浸水想定区域図(名取川④) 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)



2-1 洪水浸水想定区域図(岩の川) 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)



2-2 仙台市の洪水ハザードマップの更新について

仙台市の洪水ハザードマップの更新について

今年5月に指定された洪水浸水想定区域については、

①「**せんだいくらしのマップ**」(地理情報システム)は、令和7年度内に掲載する予定です。

(更新後、仙台市ホームページでお知らせします)

②「**仙台防災ハザードマップ**」(紙・PDF)は、令和8年度版に掲載する予定です。

更新までの間は、宮城県が公表した洪水浸水想定区域図をご覧くださいようお願いいたします。

洪水浸水想定区域図は、宮城県ホームページからご確認ください。

